

鹿児島市中心市街地
いづろ・天文館地区, 鹿児島中央駅地区
店舗実態調査

〈令和5年11月末 現在〉

目次

調査概要	1
調査結果の概要.....	2
I. 2 地区(14 商店街振興組合・協同組合)の店舗等の所在状況	3
II. 14 商店街ごとの店舗等の所在状況	8
III. 14 商店街ごとの店舗等配置図	38
(参考資料) 店舗等実態調査一覧表	59
Appendix ジャンル別店舗増減	73

調査概要

1. 調査の目的
第3期鹿児島市中心市街地活性化基本計画の推進に伴う商店街等の活性化の実態把握及び中心市街地活性化協議会の業務の一つである空き店舗対策や地区別意見交換会等の基礎資料を得ることを目的とする。
2. 調査の対象
いづろ・天文館地区の中でも往来の多い商店街で、商店街振興組合等のある12通りと、鹿児島中央駅地区において商店街振興組合のある2通りの計14通りを調査した。

① 金生通り	② 中町ベルク	③ 中町・コアモール
④ 納屋通り	⑤ 照国表参道	⑥ 天文館パークアベニュー
⑦ ぴらも～る	⑧ はいから通り	⑨ にぎわい通り
⑩ 天文館本通り	⑪ いづろ通り	⑫ G3(天文館通り繁華街)
⑬ 一番街	⑭ 都通り	
3. 調査の方法
ヒアリング及び目視による
4. 調査の時期
令和5年11月下旬

調査結果の概要

区分	調査時期	I 卸売業、小売業			M 宿泊業、飲食サービス業			N 生活関連サービス業、娯楽業			その他の業種			全体			空き店舗
		総数	新規	閉店	総数	新規	閉店	総数	新規	閉店	総数	新規	閉店	総数	新規	閉店	
いづろ・天文館地区	令和1年	294	30	27	154	20	22	169	20	26	218	29	15	835	99	90	128
	令和2年	288	27	33	143	7	18	177	18	10	215	11	14	823	63	75	163
	令和3年	281	19	26	138	9	14	170	8	15	212	18	21	801	54	76	202
	令和4年	324	60	17	152	28	14	180	22	12	223	27	16	879	137	59	202
	令和5年	321	21	24	148	19	23	184	24	20	220	22	25	873	86	92	212
鹿児島中央駅地区	令和1年	33	1	1	38	6	6	20	0	1	36	5	6	127	12	14	11
	令和2年	31	2	4	41	6	3	18	0	2	35	1	2	125	9	11	10
	令和3年	52	21	0	53	13	1	24	6	0	45	11	1	174	51	2	8
	令和4年	48	2	6	54	5	4	24	1	1	43	1	3	169	9	14	14
	令和5年	37	1	12	62	14	6	23	1	2	44	1	0	166	17	20	22
全体	令和1年	327	31	28	192	26	28	189	20	27	254	34	21	962	111	104	139
	令和2年	319	29	37	184	13	21	195	18	12	250	12	16	948	72	86	173
	令和3年	333	40	26	191	22	15	194	14	15	257	29	22	975	105	78	210
	令和4年	372	62	23	206	33	18	204	23	13	266	28	19	1048	146	73	216
	令和5年	358	22	36	210	33	29	207	25	22	264	23	25	1,039	103	112	234

全体的には、1,039 店舗・事業所となり前年比9店舗・事業所減少した。業種別には「I 卸売業、小売業」が前年比14 店舗・事業所減少した影響が大きく響いている。

経年変化をみると、平成 28 年に 988 店舗・事業所(平成 27 年 1,002 店舗・事業所)と 1,000 店舗・事業所を割り込み、6年連続 900 店舗・事業所台が続いていたが、大規模商業施設の開業の効果もあり、令和4年に7年ぶりに 1,000 店舗・事業所を回復し、2 年連続 1,000 店舗・事業所を超える水準を確保したことになった。大規模商業施設の開業は、令和3年から4年に「Li-Ka 19・20」(49 店舗・事業所)、「センテラス天文館」(73 店舗・事業所)だが、これらを考慮すると、実質的には前年比で減少傾向ともいえる。

また、空き店舗は 234 箇所と前年比 18 箇所増加した。令和3年に初めて 200 箇所超となったが、これを更新した。空き店舗は、フロアの区画の関係やテナント募集の有無等、正確な把握は困難だが、令和2年以降、4年続けて「空き店舗」が増加している。

【いづろ・天文館地区】

いづろ・天文館地区は、全体で前年比6店舗・事業所減少という結果となった。

「卸売業、小売業」:店舗・事業所数は、前年に比べ3店舗・事業所減(新規 21 店舗、閉店 24 店舗)となった。4商店街で増加、6商店街で前年比減少(2商店街は変わらず)となった。

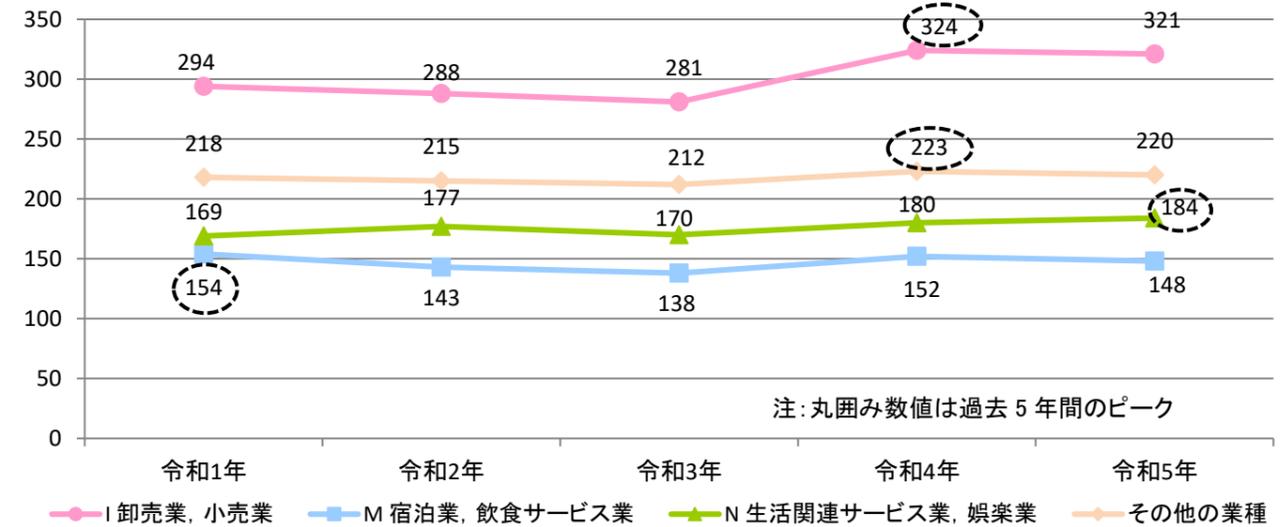
「宿泊業、飲食サービス業」:店舗・事業所数は、前年に比べ4店舗・事業所減(新規 19 店舗、閉店 23 店舗)となった。2商店街で増加、5商店街で減少(5商店街は変わらず)した。

「生活関連サービス業、娯楽業」:店舗・事業所数は、前年に比べ4店舗・事業所増(新規 24 店舗、閉店 20 店舗)となった。3商店街で増加、2商店街で減少(7商店街は変わらず)という結果となった。

「その他の業種」:店舗・事業所数は、前年に比べ3店舗・事業所減(新規 86 店舗、閉店 92 店舗)となった。5商店街で増加、3商店街で減少(4商店街は変わらず)という結果となった。

空き店舗は 212 箇所と前年比 10 箇所増加した。「納屋通り」「照国表参道」の 2 商店街で4箇所増加した。

いづろ・天文館地区の店舗・事業所数の推移



【鹿児島中央駅地区】

鹿児島中央駅地区は、全体で3店舗・事業所(新規 17 店舗、閉店 20 店舗)減少となった。

「卸売業、小売業」の店舗・事業所数は、前年に比べ 11 店舗・事業所減、「宿泊業、飲食サービス業」は、8店舗・事業所増、「生活関連サービス業、娯楽業」は、1店舗・事業所減、「その他の業種」は、1店舗・事業所増加した。

なお、本年は「一番街」でアエールプラザの 1 階店舗の閉店(9店舗減)、「都通り」で「MEAT BANK」開業(6店舗増加)が影響の大きい出来事といえる。

鹿児島中央駅地区の店舗・事業所数の推移

